

(1) 事業名称等

- 【事業名称】 東海大地震に備えて旧蒲原宿の文化財建造物を地域で守る事業
【実施団体】 NPO 法人 旧五十嵐邸を考える会
【事業経費】 1,343,832 円
【事業領域】 文化財の管理活用に向けた地域ネットワークの構築
文化財建造物防災に関する活動

(2) 事業の目的

- ・東海道の宿場町である旧蒲原宿地区は、国登録有形文化財 5 棟をはじめ文化財建造物が良く残り、歴史的な町並みを形成しているが、当該地区は駿河湾に面し、東海大地震やそれに伴う津波の襲来が予想されている。
- ・東日本大震災では、地震により破損した未指定の歴史的建造物が解体滅失される事態が相次いだ。文化財建造物の被災の状況や海洋型地震の規模等の見直しなどを踏まえ、文化財建造物と地域を守る活動に取り組む。

(3) 事業活動の内容

1) 災害発生時に文化財建造物を守る防災活動方策の検討

- ①登録有形文化財である旧五十嵐歯科医院の被災時の行動計画を検討する。
- ②防災拠点として旧五十嵐歯科医院を機能させるための活用や整備方策を検討する。
- ③歴史的町並みの特性を活かした災害時対応シミュレーションを検討する。

開催日時	場 所	内 容	備 考
7月11日	旧五十嵐歯科医院	事前勉強会 岐阜県岩村事例紹介	講演会 32人
7月22日	旧五十嵐歯科医院	地域に受け継がれた 防災資源を探そう	講演会+ワークショップ 30人
8月18日	旧五十嵐歯科医院	旧五十嵐邸を地域の防 災拠点にしてみよう	講演会+ワークショップ 28人
9月19日	旧五十嵐歯科医院	蒲原宿を襲った大災害 を考える	講演会 62人
11月 4日	旧五十嵐歯科医院	東日本大震災を考える	講演会 39人
平成25年 1月19日	旧五十嵐歯科医院	「地域と歴史建造物を 守る防災訓練」をやっ てみよう!	自主防災訓練 31人

【ワークショップの様子】



2) 地震や津波時の破損による文化財建造物の解体進行を防ぐ方策の検討

- ①建築士等による被災後の行動マニュアルの検討
- ②旧五十嵐邸を考える会等による被災前、被災後の行動計画の検討

【行動計画検討の様子】



3) 津波被害等を受けた場合の文化財建造物や歴史的町並みの事前復興計画の検討

開催日時	場 所	内 容	備 考
8月18日	旧五十嵐歯科医院	伝統的建造物の耐震補強と火災対策について	専門家勉強会 40人
10月20日	旧五十嵐歯科医院	災害が起きたとき、何が起きるか、何が出来るか、みんなで考えよう！	講演+ワークショップ 31人
10月20日	旧五十嵐歯科医院	災害発生後に地域の建築士等が出来ること	専門家勉強会 31人

【講演、勉強会の様子】

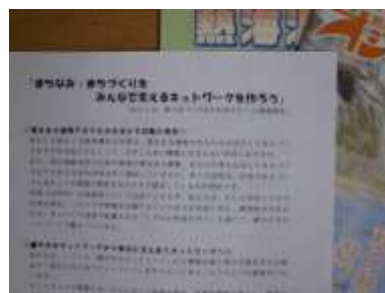


4) しずおか町並みゼミ等を活用したデータベースとネットワークの構築

静岡県においては町並みや登録有形文化財を活用し、歴史を活かしたまちづくりを進める団体が年一回交流を図る「しずおか町並みゼミ」が開催されている。このゼミを活用して、県内及び周辺地域の活動団体のデータベースの作成と、町並みゼミの機会を利用したネットワークづくりを行う。

開催日時	場 所	内 容	備 考
1月26日 ～27日	熱海市	まちを変え、町並みを変えるコンテンツ（活動、事業またはお店）を考えよう！	静岡県内のまちなみまちづくり団体メンバー 35人

【しずおか町並みゼミの様子】



(4) 事業の成果

【一定の成果が得られたこと】

- 旧五十嵐邸を地域防災の核とする取組みが進んだ。
 - ①旧五十嵐邸で災害が起きた時の行動計画をたてた。
 - ・見学者の避難、誘導など
 - ②旧五十嵐邸を災害から守る設備の検証を行った。
 - ③周辺地区の防災にも寄与できる取り組み内容を整理した。
 - ・近隣の延焼防止にも役立つ簡易な消火栓の設置
 - ・非常時の通り抜けの通路の役割
 - ・備蓄、井戸の水の災害時利用 など



【今後の取り組み課題がわかったこと】

- 歴史的町並みの「事前復興」に向けた課題を把握した。
 - ①建築士と協力して検討する事柄を把握した。
 - ・被害判定、応急修理の相談窓口づくり、職人などの斡旋 など
 - ②災害時に向けて会員が日頃から準備する事柄を把握した。
 - ・所有者に日頃から建物の価値や感謝の気持ちを伝える など
- 蒲原宿の歴史文化を活かした地域防災の取組みに着手した。
 - ①身の回りにある歴史文化を活かした防災資源マップを作成した。
 - ②地域の防災訓練に参加し、より効果を高める方法を考えた。

【全体を通じた成果】

- 思いを同じくする仲間のネットワークができた。
 - ①会員をはじめ参加者の意識が向上した。
 - ②消防団、建築士会、しずおか町並みゼミなど防災を巡るネットワークができた。



(5) 事業実施後の課題

- 防災の問題は幅が広く、一年でできることには限界があった。
- 改めて、消防団や自治会、自治体との連携体制の必要性を感じた。

(6) 今後の目的

- 旧五十嵐邸の消防計画の見直しと静岡市への提案。
- 旧五十嵐邸を活かした効果的な防災訓練の企画、実施。
- 蒲原宿の歴史文化を活かした地域防災を考える体制づくり。
 - ①蒲原宿の消防団、自治会、市などとの体制づくり
 - ②災害時支援を目的とした県内団体の体制づくり
- 静岡県建築士会と連携した「事前復興計画」づくり。
 - ①災害直後の建築士による歴史的建造物の被害度判定
 - ②会が仲介して歴史的建造物の所有者の応急修理相談、職人斡旋
 - ③そのための日頃からの所有者との関係づくり
- 静岡市への働きかけ、地域防災計画などへの反映。